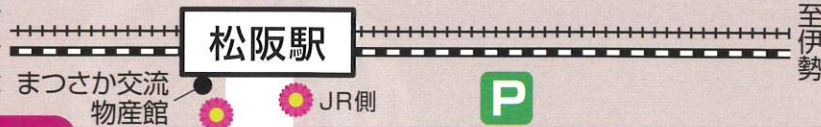


令和6年

5月25日土 ▶ 31日金

至名古屋



松阪三珍花保存会

松阪撫子展 5月18日土~22日水

場所: 豪商ポケットパークあすまや(本町) 9:00~16:00 (最終日~12:00)

松阪三珍花は、古典植物の一つとして重要・有名な花で、江戸時代後期に松阪で育成・作出された、「松阪撫子」「松阪花菖蒲」「松阪菊」です。作者は異なるが、「花弁が細く・捻じれ・垂れ下がる」という変化ある花型から人気があり、愛培家により受け継がれていたが、「この美しい貴重な花は、松阪で保存しなければ」と、昭和46年(1971)に当時の愛好家が「松阪三珍花保存会」を設立しました。只今、会員募集中です。



松阪三珍花保存会 松阪花菖蒲 松阪菊 松阪撫子

なでしこ館(夢休庵)

5月25日~31日 10:00~16:00

ポケットパークでは、風にゆれる「松阪撫子」がみなさまをお待ちしています。25日(土)はお弁当の販売もあります。



撫子晦日市

クラフト市と「晦日もなか」の販売

5月31日金 10:00~15:00

中町: 柳屋奉善元喫茶楊柳園

撫子献花式

5月25日土 13:00~13:30

松阪撫子のお花を祭壇に献花してお花をたたえるセレモニーです。



- なでしこ展示場所
- 駐車場
- トイレ

松阪三珍花 松阪撫子

松阪撫子は、殿町に住む徳川藩士の継松栄二(1803~1866)が河原なでしこを栽培中、花卉が糸のように細く切れ長く垂れ下ったものを発見したのが最初です。実生により改良を加え本種の創始者となっています。第119代光格天皇はこの撫子を大層愛でられたので「御所撫子」とも言われ、京都宝鏡寺の襷絵にも描かれています。また、松阪では松阪三珍花保存会が保存に努力されています。



松阪三珍花保存会 資料参照